

科目名称:保育内容(言葉)指導法 I					
担当者名:岡部 智子					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	1年後期	演習	必修	1	子ども福祉学科(3)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		24106241
授業概要:乳幼児期の言葉の発達を踏まえて、保育者の役割及び保育環境について考察していく。また、保育の中での言葉の指導として、劇的表現活動についても学習、実践することを通して、教材についての知識及びその活用法を理解していく。					
到達目標:乳幼児期の言葉の発達を支える保育者の役割および言語環境について理解を深める。劇的表現活動について学び、実践することを通して、教材についての知識およびその活用法を理解する。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 ガイダンス			乳幼児が発する言葉や特徴について関心を持っておく(60)		
第2回 領域「言葉」の特徴			保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説などの領域「言葉」を精読する(60)		
第3回 領域「言葉」について学ぶ(1)言葉で気持ちを表現する			保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説などの領域「言葉」を精読する(60)		
第4回 領域「言葉」について学ぶ(2)相手の言葉を聞く			保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説などの領域「言葉」を精読する(60)		
第5回 領域「言葉」について学ぶ(3)言葉で伝え合う			保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説などの領域「言葉」を精読する(60)		
第6回 言葉の発達と言語環境			言葉の環境と活動について下調べをする(60)		
第7回 言葉の育ちにかかわる諸問題			前回授業範囲の復習(60)		
第8回 言葉の育ちに課題を抱える子どもの理解と支援(1)言語障がい、気になる子			前回授業範囲の復習(60)		
第9回 言葉の育ちに課題を抱える子どもの理解と支援(2)事例から考える			前回授業で指示された課題に取り組む(60)		
第10回 劇的表現活動について知る			劇的表現活動の種類や内容について調べておく(60)		
第11回 劇づくりと劇あそび(1)グループ作り、話し合い			発表に向けてグループ毎にしっかりと準備を進めておく(60)		
第12回 劇づくりと劇あそび(2)準備			発表に向けてグループ毎にしっかりと準備を進めておく(60)		
第13回 劇づくりと劇あそび(3)発表			発表に向けてグループ毎によく練習をしておく(60)		
第14回 劇づくりと劇あそび(4)振り返り、講評			発表内容について自己の取り組み振り返り、整理しておくこと(60)		
第15回 まとめ			これまでの学習内容を見直し、しっかりと復習しておくこと(60)		
履修に必要な予備知識や技能:乳幼児が発する言葉やつぶやきに関心を持ち、日頃から児童文化財に触れ、技術向上に努めること。					
課題に対してのフィードバック:授業で提出した演習課題の成果物やワークシートについては、点検・添削された後、次回以降の授業で返却し、講評する。					
評価方法・基準:定期試験 80%、実技試験 20%(受講態度を含む)					
教科書:「最新保育講座 10 保育内容 言葉」柴崎正行、戸田雅美、秋田喜代美(ミネルヴァ書房) 「幼稚園教育要領」文部科学省、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」内閣府、文部科学省、厚生労働省、「幼稚園教育要領解説」文部科学省(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省(フレーベル館)、「保育所保育指針解説書」厚生労働省(フレーベル館)					
備考:参考文献として『実践につなぐ ことばと保育』改定2版 近藤幹生他(ひとなる書房)を使用する。					
実務経験の内容・期間:幼稚園教諭(22年)					